

取扱いの趣旨

C A 19－9は、消化器系癌の腫瘍マーカーとして使用されているため、他に有用な腫瘍マーカーがある乳癌疑い等に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年11月29日》

359 卵巣癌疑い等に対するC A 19－9の算定について

○ 取扱い

① 次の傷病名に対するD009「9」C A 19－9の算定は、原則として認められる。

- | | |
|----------------|-------------|
| (1) 卵巣癌疑い | (2) 肝内胆管癌疑い |
| (3) 原発性肝内胆管癌疑い | (4) 転移性肝癌疑い |

② 次の傷病名等に対するD009「9」C A 19－9の算定は、原則として認められない。

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------|
| (1) 乳癌疑い | (2) 前立腺癌疑い | (3) 原発性胆汁性胆管炎疑い |
| (4) C A 19－9 高値 | (5) 肝細胞癌疑い | (6) 原発性肝細胞癌疑い |

○ 取扱いを作成した根拠等

C A 19－9は、膵癌、胆嚢癌、胆管癌などで高い陽性率を示し、消化器系癌の腫瘍マーカーとして使用されている。また、消化器系以外では卵巣癌でも高値となる。

以上のことから、①の傷病名に対するD009「9」C A 19－9の算定は、原則として認められると判断した。

一方、②の傷病名に対しては、他に有用な腫瘍マーカーがあること、また、C A 19－9 高値は病名として不適切であることから、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

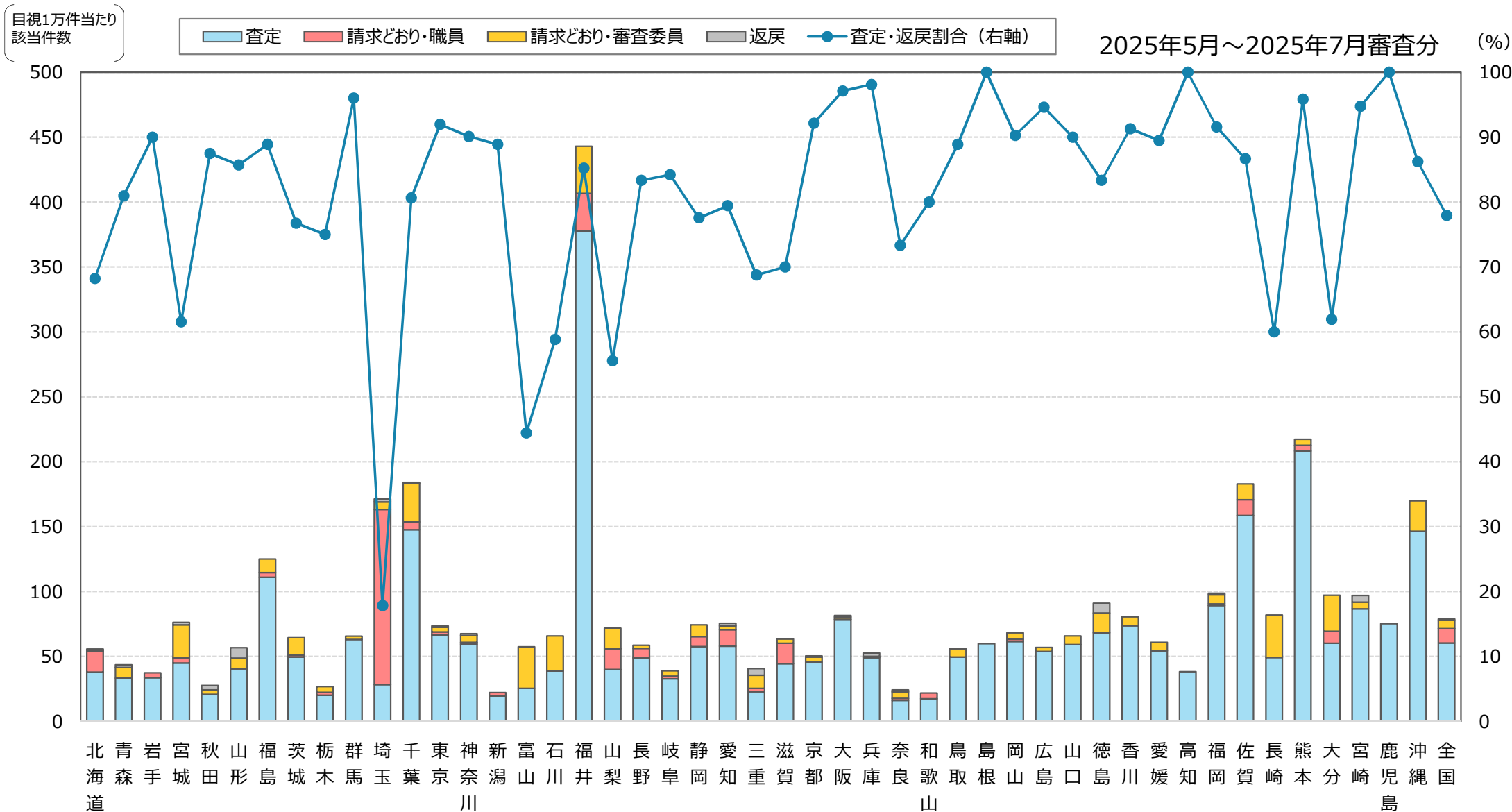
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 77.94%
- 検証対象都道府県 31

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	埼玉、富山、山梨、石川、長崎、宮城、大分、北海道、三重、滋賀、奈良、栃木、茨城、静岡、愛知、和歌山	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	埼玉、福井、北海道、山梨、滋賀、愛知、佐賀、大分、静岡、長野、千葉、和歌山、宮城、岩手、福島、三重	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	福井、長崎、富山、千葉、大分、石川、宮城、沖縄、山梨、徳島、茨城、佐賀、福島、三重、静岡、青森	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,430件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,894件
検証を必要とする審査	請求どおり	536件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数